



■福島の写真(福島第一原発)

福島*の*いまと環境問題から 考える原発再稼働

2025年 2月15日(土) 13:00~16:00

参加費
無料

会場: 船橋市勤労市民センター 地下ホール
(千葉県船橋市本町4丁目19-6)

トークセッション

『いま、私たちにできること』

登壇者: 松久保 肇 氏 (原子力資料情報室 事務局長)
轟木 典子 氏 (国際環境NGO FoE Japan)



松久保 肇 氏



轟木 典子 氏

■福島の写真(福島第一原発と放出口)



福島*の*いまと環境問題から考える原発再稼働



13:00~14:30 **映画上映会**

『原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち』

原子力発電の危険性を伝える元裁判長、放射線被災で諦めた農業を太陽光発電によって蘇らせる農家たち取材したドキュメンタリー。

2014年に関西電力大飯原発の運転停止命令を下した樋口英明・福井地裁元裁判長は、「頻発する地震に原発が耐えられない」と原発の危険性を説く活動を始めた。一方、福島では放射線汚染によって廃業に追い込まれた農家が、ソーラーシェアリングに農業復活の道を見だし、営農型太陽光発電を始動させる。原発をとめるために!



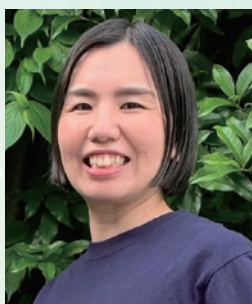
松久保 肇氏

14:40~15:20 **講演**

『気候変動対策に原子力発電は有効か』

講師：松久保 肇氏（原子力資料情報室 事務局長）

政府も、気候変動対策とエネルギー安全保障の名の下、原発利用の推進は国の責務とし、原発を気候変動対策に用いようとしている。こうした中、気候変動対策とし原発は本当に有効なのか、経済的な側面から再稼働に伴う原発のリスクなどお話しします。



轟木 典子氏

15:20~16:00 **トークセッション**

『いま、私たちにできること』

登壇者：松久保 肇氏（原子力資料情報室 事務局長）
轟木 典子氏（国際環境 NGO FoE Japan）

深刻化する地球温暖化を背景とした気候変動を少しでも食い止めるために私たちに何ができるか、再生可能エネルギーの可能性や今日から参加できるアクションを皆さんといっしょに考えたいと思います。



お申し込みは
コチラから



申し込み方法：

*左の二次元コードより
お申込みください。

申し込みめ切日：**2月8日(土)**

*お申し込みめ切日後、3日以内に確認メールが届かない場合は、メールアドレスの間違いなどからお申し込みが完了していない可能性があります。お手数ですが再度お申し込みください。

主催：

フクシマを考えるフォーラム 2025 実行委員会
エナガの会 / 甲状腺検診ちばの会 / 脱原発・市川市民の会 /
自給エネルギーの会 / 千葉県放射性廃棄物を考える住民連絡会 /
生活クラブ生活協同組合（千葉） / なのはな生活協同組合 /
生活協同組合パルシステム千葉

お問い合わせ先：平日9:00~17:00

*各生協の組合員の方はご所属の生協へお問い合わせください。
生活協同組合パルシステム千葉 TEL：047-420-2605
生活クラブ生活協同組合（千葉） TEL：043-278-7172
なのはな生活協同組合 TEL：043-216-7087
*生協の組合員ではない方はパルシステム千葉へお問い合わせください。